

ユニセフカップ2009 西宮国際ハーフマラソン

～アフリカの子供たちの命と健康を守ろう！～

実施レポート

『ユニセフカップ2009西宮国際ハーフマラソン』(主催/サンケイスポーツ、産経新聞社)がスタートしたのは、1986年。飢餓に苦しむアフリカ諸国の人々を支援しようとユニセフ(国連児童基金)が同5月、世界に呼びかけた「スポーツエイド」がそもそもの始まりです。今年で、24回目となる今大会は昨年より多い8346人が、阪神甲子園球場前～武庫川河川敷特設コースを駆け抜けました。

この大会は「アフリカの子供たちの命と健康を守ろう！」をテーマにユニセフの活動を支援しており、日本ハムは、特別協賛として参加し、寄付金の贈呈や男女ハーフマラソンの各優勝者に1本約8kg、5万円相当の「美ノ国骨付きハム」をプレゼント。

また会場におきましては、「ニッポンハムグループチャリティフードショップ」を開設し、「森の薫りウインナーのホットドッグ」など11品のメニューを特別販売し、ランナーの皆様はもちろんそのご家族、お仲間の方々にも楽しんでいただきました。

これからも日本ハムグループは「食とスポーツで健康を育てよう。」をテーマに、プロからアマチュアまで幅広いスポーツ支援に取り組み、皆様の心と体の健康を応援して参ります。

寄付金贈呈



日本ハム(株)近畿圏量販部長 木綿章夫より、日本ユニセフ協会兵庫県支部・山岸ひろ子評議員へ寄付金の贈呈

チャリティフードショップ



今年も大盛況だったフードショップ。売上の一部をユニセフに寄付させていただきます。

美ノ国骨付きハム贈呈



日本ハム西販売(株)近畿第一販売部長 前田勝彦より優勝者に贈呈された「美ノ国骨付きハム」。「美ノ国ギフト」は原料の生産から製造までを、一貫して日本ハムグループでつくられている国産プレミアムギフトです。

小学生駅伝入賞者へのメダル授与



武庫川河川敷を5人1組でたすきをつなぐ小学生駅伝。男女の入賞者へメダルの授与

ハムリンズ



どこに行ってもチビッコに大人気のハムリンズが登場！